

2015年3月作成(第1版)



日本標準商品分類番号	8 7 2 6 1 4
承認番号	16000AMZ06572
薬価収載	1985年12月
販売開始	1985年12月
再評価結果	1983年4月

外皮用殺菌消毒剤
日本薬局方
オキシドール

オキシドール「タイセイ」
Oxydol

500mL

発売元 **株式会社 三恵薬品**
愛知県豊橋市入船町21番地

製造販売元 **大成薬品工業株式会社**
福岡県筑後市大字熊野字屋敷998-1

【禁忌】 (次の部位には使用しないこと)

瘻孔、挫創等本剤を使用した際に体腔にしみ込むおそれのある部位〔空気塞栓をおこすことがある〕

【組成】

過酸化水素2.5~3.5w/v%を含有する。添加物としてフェナセチンを含有する。

【性状】

無色澄明の液で、においはないか、又はオゾンようのにおいがある。光によって変化する。

【効能・効果/用法・用量】

1. 創傷・潰瘍の殺菌・消毒：原液のままあるいは2~3倍希釈して塗布・洗浄する。
2. 外耳・中耳の炎症、鼻炎、咽喉頭炎、扁桃炎などの粘膜の炎症：原液のまま塗布、滴下あるいは2~10倍（耳科の場合、時にグリセリン、アルコールで希釈する）希釈して洗浄、噴霧、含嗽に用いる。
3. 口腔粘膜の消毒、齶窩及び根管の清掃・消毒、歯の洗浄：原液又は2倍希釈して洗浄・拭掃する。
4. 口内炎の洗口：10倍希釈して洗口する。

【使用上の注意】

1. **重要な基本的注意**
長期間又は広範囲に使用しないこと。
2. **副作用**
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

(1) 重大な副作用

空気塞栓：空気塞栓を起こすことがあるので、循環動態に異常を認めた場合など空気塞栓が疑われる症状がみられた場合は、速やかに本剤の使用を中止し、適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用

	頻度不明
口腔	連用により口腔粘膜を刺激することがある

3. 適用上の注意

- (1) 投与経路
外用にのみ使用、内服しないこと。
- (2) 使用時

- 1) 眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
- 2) 易刺激性の部位に使用する場合には、正常の部位に使用する場合よりも低濃度とすることが望ましい。
- 3) 深い創傷に使用する場合は希釈液としては注射用水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。

4. その他の注意

長期大量経口投与によりマウスの十二指腸に腫瘍の発生が認められたとの報告がある。

【薬効薬理】

使用濃度において細菌に有効であるが、その作用は緩和で持続性がない。発泡による機械的清浄化作用がある。

使用期限

製造番号

〈調剤包装単位用コード〉



(01)04987344272484

〈販売包装単位用コード〉



(01)14987344272474



本体：PE
キャップ：PP

L150307SK

ポリ用